

## こころとからだのしくみ

**問題 97** ライチャード(Reichard, S.)による老年期の性格類型において、円熟型に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分の過去に対して自責の念を抱く。
- 2 年を取ることをありのまま受け入れていく。
- 3 若いときの積極的な活動を維持する。
- 4 他者の援助に依存する。
- 5 責任から解放されることを好む。

**問題 98** 臓器とその機能の組合せとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 肝臓 — グリコーゲン(glycogen)の貯蔵
- 2 膀胱ぼうこう — 尿の濃縮
- 3 小脳 — 呼吸中枢
- 4 副腎 — インスリン(insulin)の分泌
- 5 心臓 — ガス交換

**問題 99** 唾液腺と唾液に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 副交感神経は唾液分泌を抑制する。
- 2 唾液分泌は食事摂取時に限られる。
- 3 耳下腺の導管は口腔底こうくうていに開口する。
- 4 唾液には抗菌作用がある。
- 5 舌下腺は小唾液腺である。

**問題 100** 良肢位に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ADL (Activities of Daily Living：日常生活動作)に最も支障が少ない姿勢である。
- 2 肘関節<sup>ちゅうかんせつ</sup>を伸ばした姿勢である。
- 3 つま先が下を向いた姿勢である。
- 4 拘縮を起こしやすい姿勢である。
- 5 クッションを用いた保持は避ける。

**問題 101** 胃ろうに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ろう孔周囲のびらんは、放置してよい。
- 2 ろう孔は、カテーテルの抜去後、およそ1時間で自然に閉鎖する。
- 3 カテーテルの交換は不要である。
- 4 ミキサー食の注入は禁止されている。
- 5 経口摂取も併用できる。

**問題 102** Dさん(75歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。糖尿病(diabetes mellitus)があり, インスリン療法を受けている。2日前から風邪をひいて, 食事量が普段の半分程度に減っていたが, 医師の指示どおりインスリン注射を継続していた。介護福祉職が朝食をDさんに渡そうとしたところ, 顔色が悪く, 「胸がドキドキして, ふわふわする」と話し, 額には汗が見られた。

考えられるDさんの状態として, ただちに医療職に相談しなければならないものを1つ選びなさい。

- 1 発熱
- 2 脱水
- 3 低血糖
- 4 貧血
- 5 意識障害

**問題 103** 皮膚の乾燥に伴うかゆみに関する次の記述のうち, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者では, まれである。
- 2 水分摂取を控える。
- 3 顔面に好発する。
- 4 利用者の爪は短く切る。
- 5 皮膚をかくことで軽快する。

問題 104 入浴介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家庭内での不慮の事故死のうち、入浴関連はまれである。
- 2 心臓に疾患のある人には、全身浴を勧める。
- 3 浴槽からの立ち上がりは、ゆっくり行う。
- 4 食後すぐの入浴を勧める。
- 5 入浴後、水分摂取は控える。

問題 105 排便の仕組みに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 仰臥位は、排便しやすい姿勢である。  
ぎょうがい
- 2 交感神経は、直腸の蠕動運動を促進させる。  
ぜんどううんどう
- 3 食事をとると、便意はおさまる。
- 4 息を吐きながら腹圧を低下させると、排便は促される。
- 5 排便時には、外肛門括約筋を意識的に弛緩させる。  
がいこうもんかつやくきん しかん

問題 106 睡眠に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 加齢に伴って睡眠時間は短くなる。
- 2 睡眠障害の多くは遺伝性である。
- 3 過眠は睡眠時間が長くなることをいう。
- 4 睡眠中は体温が上昇する。
- 5 睡眠周期は約 60 分である。

**問題 107** 睡眠に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者の中途覚醒は、水分の摂りすぎが原因である。
- 2 レストレスレッグス症候群(restless legs syndrome)は、下肢を動かすと症状が軽快する。
- 3 仰臥位ぎょうがいで眠ると、いびきが改善する。
- 4 睡眠時間の確保には、寝だめが有効である。
- 5 熟睡するには、就寝前の飲酒が有効である。

**問題 108** Eさん(75歳, 男性)は、2年前に肺がん(lung cancer)と診断されて、抗がん剤治療を受けていたが、効果がなく1か月前に治療を中止した。その後、日常生活に支援が必要となり、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。訪問介護員(ホームヘルパー)は初回訪問を終えて帰ろうとした時に、いきなりEさんから、「もう来なくてもいい」と厳しい口調で言われた。また、「どうして私だけが、がん(cancer)にならなければならないのか」という言葉も聞かれた。

Eさんの心理状態について、キューブラー・ロス(Kubler-Ross, E.)が提唱した心理過程の段階として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 否認
- 2 怒り
- 3 取り引き
- 4 抑うつ
- 5 受容